

第8回環境ホルモン学会講演会

- 環境ホルモンと水生生物 -

日 時： 平成13年 10月 29日（月）9：30-15：50

場 所： 全電通労働会館ホール

東京都千代田区神田駿河台3-6 TEL:03-3219-2213（ホール着信）

JR御茶の地下水車聖橋口出口、
地下鉄千代田線新御茶ノ地下水車総評会館前出口B-3、
地下鉄丸の内線 淡路町下車出口A-5、
都営新宿線 小川町下車至新宿駅より出口A-7
いずれも徒歩5分以内

主 催： 環境ホルモン学会
（正式名 日本内分泌攪乱化学物質学会）

会 費： 会員 3,000円 一般 5,000円

定 員： 300名

《 プ ロ グ ラ ム 》 一部変更の可能性が 있습니다

9:30-10:00 受 付

10:00-10:10 開会の挨拶

10:10-10:50 魚類の性とその可逆性
小林牧人（東京大学大学院農学生命科学研究科水圏生物科学専攻）

10:50-11:30 東京湾における魚類の生殖腺の雌性化
橋本伸哉（静岡県立大学環境科学研究所）

11:30-12:10 魚類の腫瘍発生と環境汚染物質とのかかわり
木苗直秀（静岡県立大学食品栄養科学部）

12:10-13:40 （昼休み）

13:40-14:20 水環境における環境ホルモンの汚染状況と魚類の雌性化調査の現状
田中宏明（独立行政法人 土木研究所水循環研究グループ）

14:20-15:00 海産魚にみられる雌性化の現状
征矢野清（長崎大学水産学部海洋資源教育研究センター）

15:00-15:40 閉鎖性水域における水生生物の現状—宍道湖を例として—
山室真澄（独立行政法人 産業技術総合研究所海洋資源環境部）

15:40-15:50 閉会の挨拶
